

3 伊達市立図書館あり方検討委員会

1. 委員会の概要

前項で示した図書館の現状を受けて、今後の図書館の果たすべき役割や機能などを検討し提言することを目的に、2016（平成28）年6月8日に「伊達市立図書館あり方検討委員会」を設置しました。

同委員会は、有識者や伊達市立図書館運営協力会を含む読書推進に関連する団体からの推薦及び公募による市民10名で構成され、2017（平成29）年2月16日に教育長に対し図書館のあり方について提言を行いました。

2. 活動内容

開催日	会議	議事
2016（平成28）年		
6月8日	第1回	・伊達市立図書館あり方検討委員会の設置について ・委員長、副委員長選出 ・今後のスケジュールについて ・伊達市立図書館の現状と課題について
7月6日	第2回	・今後の図書館に求められる機能について
9月14日	第3回	・今後の図書館に求められる機能について
11月30日	第4回	・提言書について
2017（平成29）年		
1月25日	第5回	・提言書について
2月16日	提言	・教育長に対する提言

3. 提言内容（要約）

（1）必要な情報を容易に得られる図書館

目的	書籍や資料、電子媒体などが充実し、市民の求めに応じて必要な情報を提供する、情報の集積基地としての機能が求められる。
施設・設備面	<ul style="list-style-type: none"> ・開架書架の増設により利用者の目に触れる図書を充実する。 ・資料が充実するとともに利用時の利便性を高める。 ・CDやDVDなどの電子媒体の利用を可能にする。 ・インターネット環境の整備により様々な情報へのアクセスを可能にする。 ・新聞や行政資料、郷土資料等の恒久的に保存が必要な資料の電子データ化を図る。 ・市民が抱える様々な課題を解決することができる資料を充実する。
運営・サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見を反映した図書選定を行う。 ・除籍基準を整備し、蔵書数を適正に管理する。 ・レファレンスを充実し、市民の課題解決を支援する。

（2）市民の居場所となる図書館

目的	幅広い層の利用者が、その目的に応じて気軽に足を運ぶことができ、居心地よくゆったりと過ごすことができる、市民の居場所としての機能が求められる。
施設・設備面	<ul style="list-style-type: none"> ・開架書架と一体となった広くて静かな閲覧席を確保する。 ・子育て支援や読み聞かせ活動などに配慮した空間を確保する。 ・放課後学習や調べ物などに集中できる個別ブースを確保する。 ・軽い飲食ができ、来館者同士が緩やかにつながり交流を持つことができる空間を確保する。 ・屋外の自然に触れながら読書を楽しめる空間を確保する。 ・障がいの有無にかかわらず快適に利用できるバリアフリー構造とする。 ・公園側からの動線確保や周辺の照明増設などの環境整備を行う。 ・公共交通機関との接続に配慮し、来館者の利便性を高める。
運営・サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの学習を支援する取組を行う。 ・高齢者や障がいのある来館者へのサポートを充実する。

（3）本と人を結ぶ図書館

目的	様々な情報の提供や展示・イベントなどを通して、来館者はもちろん、来館できない人や来館したことがない人にも本と出会うきっかけをつくる、読書活動の拠点としての機能が求められる。
施設・設備面	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい館内表示や配架の工夫によって図書を探しやすくする。 ・来館できない人が身近な場所や宅配などで本の受取・返却ができるシステムを構築する。
運営・サービス面	<ul style="list-style-type: none"> ・図書に関する様々なデータや新刊情報の紹介、ポップの工夫などによって来館者と本を結びつける情報提供を行う。 ・様々な媒体を使い、多くの人の目に触れるような情報発信を行う。 ・インターンシップや出前講座などを通して子どもたちが図書館に関わる機会をつくる。 ・他の文化施設などとも連携し、様々なイベントを通して図書館とつながるきっかけをつくる。 ・イベントの担い手となる組織との連携を図る。 ・ボランティアや学校、施設などの各団体との連携により、幅広く読書活動を推進する。 ・レファレンスを充実し市民の読書活動を支援する。